

長 崎 県 観 光 統 計

令和元年（1月～12月）



長崎県文化観光国際部 観光振興課

この統計表の見方

用語の解説とそれらの相関関係

(A) 観光客延べ数・・・観光の活動量を日単位で表すもので、当該地を訪れた観光客の滞在日数の合計としての入込者数で表される。

<算式で表すと>

$$\text{観光客延べ数} = \text{宿泊客延べ滞在数} + \text{日帰り客数}$$

(B) 宿泊客延べ滞在数・・・次の2つの要素を合計したもので、当該地に来訪した宿泊をとまなう観光客の滞在日数の合計としての入込者数で表される。

<要素>

(1) 宿泊客実数・・・何泊したかを問わず当該地に宿泊した観光客の合計

(2) 延べ宿泊客数・・・当該地の宿泊観光客の延べ宿泊数の合計

<算式で表すと>

$$(3) \text{ 宿泊客延べ滞在数} = \text{宿泊客実数} + \text{延べ宿泊客数}$$

平均宿泊数・・・当該地の宿泊観光客が平均何泊するかを表すもので、必ず1(泊)以上として表される。

<算式で表すと>

$$\text{平均宿泊数} = \text{延べ宿泊客数} \div \text{宿泊客実数}$$

(C) 観光客実数 = 日帰り客数 + 宿泊客実数
= 県内客 + 県外客

【具体例】

1人が2泊3日した場合

(1) 宿泊客実数・・・1人

(2) 延べ宿泊客数・・・2泊

(3) 宿泊客延べ滞在数・・・3人

調査概要

作成にあたっては、宿泊施設における聞き取りや県内各ブロックの主要観光施設の入込状況、航路・空路の乗降客数等を考慮し、令和元年12月31日現在の観光客数について、各市町が推計したものを県において集計したものである。

なお、端数処理の関係上、合計と一致しないものがある。

地域ブロック区分

この統計表における地域ブロック区分は以下のとおりである。

長崎・西彼：長崎市、長与町、時津町

佐世保・西海・東彼・北松

：佐世保市、西海市、東彼杵町、川棚町、波佐見町、佐々町

平戸・松浦：平戸市、松浦市

諫早・大村：諫早市、大村市

島原半島：島原市、雲仙市、南島原市

五島：五島市、新上五島町、小値賀町

壱岐：壱岐市

対馬：対馬市

令和元年長崎県観光統計

長崎県の観光客延べ数（令和元年1～12月）

34,694,565人（対前年比 2.3%）

平成30年の35,502,250人と比べ、807,685人の減少

- 観光客延べ数は、3年ぶりに減少に転じ、過去最多であった平成30年を下回ったものの、平成29年に次いで過去3番目に多い結果となった。

概況

平成30年7月の「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」（以下、「潜伏キリシタン関連遺産」という。）の世界文化遺産登録により五島ブロックの宿泊客が大幅増となり、長崎香港間の定期航空路線の新規就航に伴い香港人宿泊客は大幅増となったものの、訪日旅行控えにより韓国人観光客が大幅に減少したこと、中国クルーズ市場の調整局面の継続によりクルーズ客船の乗客乗員数が大幅に減少したことなどから、観光客延べ数は、過去最多であった昨年から81万人減の3,469万人（対前年比 2.3%）となった。

宿泊客は、「潜伏キリシタン関連遺産」の世界文化遺産の登録効果により旅行需要が高まった五島ブロックや定期航空路線の新規就航により香港人宿泊客は大幅増となった一方で、訪日旅行控えによる韓国人宿泊客の減少が大きく、延べ宿泊客数は昨年から16万人減の821万人（対前年比 1.9%）となった。

一方、日帰り客については、「潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産への来訪者数は増加したものの、中国クルーズ市場における急拡大後の調整局面の継続によりクルーズ客船の乗客乗員数が大幅に減少したことなどから、昨年から53万人減の1,995万人（対前年比 2.6%）となった。

観光客数比較

（単位：人）

	H30	R1	対前年増減	対前年比
観光客延べ数	35,502,250	34,694,565	807,685	2.3%
日帰り客数	20,484,722	19,953,835	530,887	2.6%
宿泊客延べ滞在数	15,017,528	14,740,730	276,798	1.8%
延べ宿泊客数	8,362,945	8,205,375	157,570	1.9%

1. 長崎県の観光動向

(1) 四半期毎の観光動向 (長崎県観光動向調査：宿泊客数の前年比)

【1～3月】(0.5%)

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の世界遺産登録効果に伴う五島ブロックなどへの旅行需要の高まりは見受けられたものの、大型施設の閉館・休館や、国内及び台湾の団体ツアー客が減少していることの影響などから、1～3月期は対前年同期比 0.5%となった。

【4～6月】(+ 3.2%)

初の10連休となった大型連休により5月が宿泊客増となったこと、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の世界文化遺産登録により五島ブロックなどへの旅行需要が高まっていること、長崎・西彼ブロックにおいてリニューアルした大型施設が堅調であったことなどにより、4～6月期は対前年同期比 + 3.2%となった。

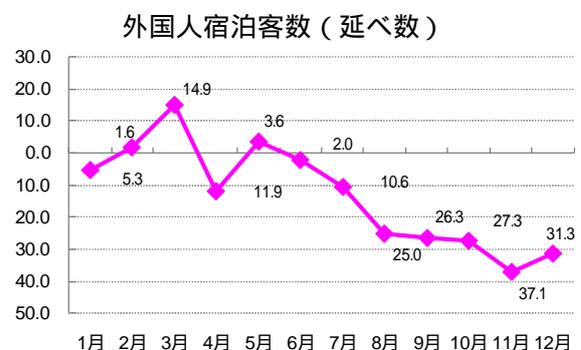
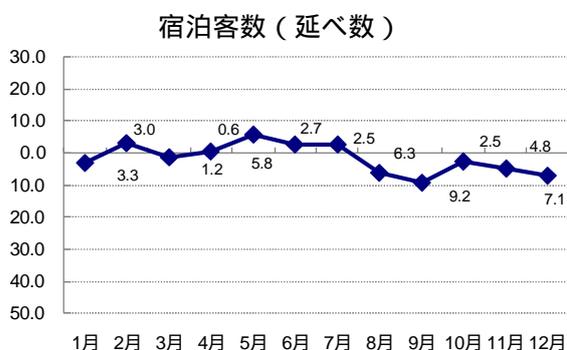
【7～9月】(4.6%)

7月は前年比プラスで推移していたものの、8月、9月が台風や8月下旬の記録的大雨等の影響に伴う旅行キャンセルの発生や、韓国の訪日旅行控えの影響などによりマイナスに転じたことから、7～9月期は対前年同期比 4.6%となった。

【10～12月】(4.7%)

有人国境離島法を活用した滞在型観光促進の取組の奏功により五島、壱岐ブロックは対前年増となったものの、韓国人観光客の入込が訪日旅行控えにより減少していること、国内団体・ツアー客が減少していること、島原半島ブロックの大型施設において客室リニューアルに伴う受入減があったことなどから、10～12月期全体では対前年同期比 4.7%となった。

長崎県観光動向調査における月別対前年増減率の推移 (%)



(2) 日帰り、宿泊別観光客の動向

日帰り客は、ローマ教皇フランシスコ台下のメッセージによって注目を集めた「焼き場に立つ少年」が展示されている長崎原爆資料館は来館者数が増加し、「潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産への来訪者数は前年に引き続き増加したものの、中国クルーズ市場における急拡大後の調整局面の継続によりクルーズ客船の乗客乗員数が大幅に減少したこと、クリスマスの日並びや繁忙日の天候不良等の影響によりハウステンボスの入場者数が減少したことなどから、対前年比 2.6% (53.1 万人) となった。

宿泊客は、「潜伏キリシタン関連遺産」の世界文化遺産の登録効果により旅行需要が高まった五島ブロックや 1 月の定期航空路線の新規就航により香港人宿泊客は大幅増となった一方で、訪日旅行控えにより韓国人宿泊客が大幅に減少したこと、8 月下旬の記録的大雨の発生等に伴い宿泊キャンセルが相次いだことなどから、延べ宿泊客数は対前年比 1.9% (15.8 万人) となった。

日帰り・宿泊別観光客数

(単位：人)

	H30	R1	対前年増減	対前年比
日 帰 り 客 数	20,484,722	19,953,835	530,887	2.6%
延 べ 宿 泊 客 数	8,362,945	8,205,375	157,570	1.9%

(3) 観光客数の推移

平成 27 年は、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」が世界文化遺産に登録されるなど、世界遺産候補も含めた注目度の高まりをはじめ、長崎市、ハウステンボスが引き続き好調を維持するとともに、ふるさと割の効果などで宿泊客が大幅に増加し、観光客延べ数は 4 年連続の増となった。

平成 28 年は、クルーズ客船の入港が順調に拡大したものの、熊本地震の影響が大きく、九州ふっこう割やねんりんピック、長崎 DC などがあったものの、平成 23 年以来 5 年ぶりに観光客延べ数は減少に転じた。

平成 29 年は、熊本地震の影響から持ち直しに加え、クルーズ客船の入港が昨年に引き続き大幅に伸び、訪日観光需要の高まりにより外国人宿泊客数が増加したことなどから、観光客延べ数は増となった。

平成 30 年は、「潜伏キリシタン関連遺産」の世界文化遺産効果により構成資産や周辺施設の来訪者が増加したこと、クルーズ客船の乗客乗員数が増加したことなどから、観光客延べ数は増となった。

令和元年は、訪日旅行控えにより韓国人宿泊客が大幅に減少したこと、クルーズ客船の乗客乗員数が減少したことなどから、平成 28 年以来 3 年ぶりに観光客延べ数は減少に転じた。

観光客延べ数の伸び率推移

(単位：%)

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
対前年比	2.7	3.7	4.3	5.5	4.8	2.7	2.7	4.2	1.1	2.3

(4) 地域ブロック別の動向

長崎・西彼ブロック 1,054.7 万人、対前年比 1.1% (12.1 万人)

長崎 市：訪日旅行控えにより韓国人宿泊客は大幅減となったものの、前年リニューアルオープンした大型宿泊施設が堅調に推移したこと、長崎香港間の定期航空路線の新規就航等に伴い香港人宿泊客が大幅に増加したことから、延べ宿泊客数は対前年比 +0.1%(+0.2 万人)となった。一方、日帰り客は、中国クルーズ市場の調整局面の継続によりクルーズ客船の乗客乗員数が減少したこと、旧グラバー住宅の保存修理工事を開始したグラバー園や台風被害等に伴い上陸停止が相次いだ端島(軍艦島)の利用者数が減少したことなどから、日帰り客数が対前年比 4.0%(17.7 万人)となり、観光客延べ数は対前年比 1.3% (13.5 万人)となった。

佐世保・西海・東彼・北松ブロック 962.9 万人、対前年比 4.3% (43.4 万人)

佐世保 市：弓張岳や展海峰など展望施設の来訪者数は増加したものの、クリスマスの日並びや繁忙日の天候不良等の影響によりハウステンボスや九十九島パールシーリゾートの来場者数が減少したこと、中国クルーズ市場の調整局面の継続によりクルーズ客船の乗客乗員数が減少したことなどから、日帰り客は対前年比 6.8% (27.4 万人)、観光客延べ数は対前年比 4.7% (35.1 万人)となった。

西海 市：道の駅さいかい「みかんどーム」やさいかい井フェアの来場者数は増加したものの、設備改修の影響等により長崎オランダ村を訪れる訪日外国人ツアー客が減少したことなどから、観光客延べ数は対前年比 8.7% (7.8 万人)となった。

波佐見 町：西の原地区や波佐見温泉への来訪者は増加した一方で、前年に過去最高を記録した波佐見陶器まつりの来場者数がやや減少したことが影響し、観光客延べ数は対前年比 0.2% (0.2 万人)となった。

平戸・松浦ブロック 300.5 万人、対前年比 +1.9% (+5.7 万人)

平戸 市：「潜伏キリシタン関連遺産」の世界文化遺産の登録効果により春日集落や田平天主堂への来訪者が増加したことから、観光客延べ数は対前年比 +0.4% (+0.8 万人)となった。

松浦 市：平成 31 年 4 月 27 日の「アジフライの聖地 松浦」宣言以降、その取組の奏功により、道の駅「松浦海のふるさと館」等の物産施設への来訪者が増加したことなどから、観光客延べ数は対前年比 +5.0% (+5.0 万人)となった。

諫早・大村ブロック 476.9万人、対前年比+1.0% (+4.7万人)

諫早市：諫早つつじ祭りや白木峰高原、山茶花高原ピクニックパーク・ハーブ園の来場者数は増加したものの、諫早公園を訪れる訪日外国人ツアー客が減少したことなどから、観光客延べ数は対前年比 2.0% (5.5万人)となった。

大村市：ビジネス需要により宿泊客が増加したことに加え、おおむら花まつりなどのイベントによる集客が好調であったこと、大村市歴史資料館がオープンしたことなどから、観光客延べ数は対前年比+5.1% (+10.2万人)となった。

島原半島ブロック 491.1万人、対前年比 2.4% (11.8万人)

島原市：島原市が舞台となったテレビドラマの全国放送によりロケ地などへの来訪者が増加したこと、スポーツ大会・合宿の誘致活動が奏功したことなどから、観光客延べ数は対前年比+4.1% (+4.3万人)となった。

雲仙市：前年リニューアルオープンした宿泊施設が堅調に推移したことなどにより宿泊客は増加した一方で、愛野展望台や雲仙温泉への来訪者が減少したことなどから、観光客延べ数は対前年比 3.5% (9.9万人)となった。

南島原市：大型宿泊施設において客室リニューアル等に伴う受入客数の制限があったことなどから、観光客延べ数は対前年比 5.6% (6.2万人)となった。

五島ブロック 71.2万人、対前年比+7.3% (+4.8万人)

五島市：「潜伏キリシタン関連遺産」の世界文化遺産登録に伴う旅行需要の高まりにより「旧五輪教会堂」「江上天主堂」の来訪者数が大幅増となり、延べ宿泊客数も対前年比+19.9%と大幅増となったことから、観光客延べ数は対前年比+8.8% (+3.6万人)となった。

新上五島町：しまとく通貨とのタイアップによる旅行商品の販売が堅調に推移したことや宿泊施設の新規オープン等により宿泊客が増加したことから、観光客延べ数は対前年比+2.8% (+0.6万人)となった。

壱岐ブロック 39.1万人、対前年比+1.5% (+0.6万人)

壱岐市：有人国境離島法を活用した壱岐・対馬のツアー商品の販売が好調であったことなどから、観光客延べ数は対前年比+1.5% (+0.6万人)となった。

対馬ブロック 73.1 万人、対前年比 28.5% (29.2 万人)

対馬市: 有人国境離島法を活用した滞在型旅行商品の販売は前年より大幅に伸びたものの、7 月以降の訪日旅行控えにより韓国人観光客が大幅に減少したことから、観光客延べ数は対前年比 28.5% (29.2 万人) となった。

地域ブロック別観光客数

(単位 : 人、泊)

	R1						H30	観光客延べ数	
	日帰り客数	宿泊客実数	延べ 宿泊客数	宿泊客 延べ滞在数	平均 宿泊数	観光客 延べ数	観光客 延べ数	対前年 増減	対前年比
県 計	19,953,835	6,535,355	8,205,375	14,740,730	1.26	34,694,565	35,502,250	807,685	2.3%
長崎・西彼	4,358,359	2,735,489	3,452,918	6,188,407	1.26	10,546,766	10,668,192	121,426	1.1%
佐世保・西海 東彼・北松	6,004,465	1,645,080	1,979,646	3,624,726	1.20	9,629,191	10,063,271	434,080	4.3%
平戸・松浦	2,273,699	308,669	422,750	731,419	1.37	3,005,118	2,947,824	57,294	1.9%
諫早・大村	3,643,421	484,203	641,491	1,125,694	1.32	4,769,115	4,722,425	46,690	1.0%
島原半島	3,244,705	767,324	898,978	1,666,302	1.17	4,911,007	5,029,331	118,324	2.4%
五 島	183,025	207,003	321,479	528,482	1.55	711,507	663,127	48,380	7.3%
壱 岐	117,841	118,945	153,782	272,727	1.29	390,568	384,809	5,759	1.5%
対 馬	128,320	268,642	334,331	602,973	1.24	731,293	1,023,271	291,978	28.5%

(5) 外国人観光客(宿泊客)の動向

国においては、韓国市場における減速はあったものの、東アジア市場における新規就航・増便による航空座席供給量の増加や欧米市場におけるラグビーワールドカップ2019日本大会開催に伴う訪日需要の高まりなどもあり、訪日外国人旅行者数が7年連続で過去最高を更新する中、本県においては、1月に定期航空路線が新規就航した香港や個人旅行需要が高まる中国、ラグビーワールドカップ2019日本大会出場国の英国や豪州が大幅増となった一方で、本県の外国人宿泊客の半数以上を占めていた韓国が訪日旅行控えにより大きく減少したことから、延べ宿泊客数は対前年比14.9%(13.8万人)となった。

クルーズ客船については、中国クルーズ市場において急拡大後の調整局面が継続しており、入港隻数が272隻と2年連続で減少し、乗員乗客数は前年比21.0%の98.9万人(26.3万人)と6年ぶりに減少に転じた。

国・地域別外国人宿泊客数

(単位:人)

	H30		R1		延べ宿泊客数		宿泊客延べ滞在数	
	延べ 宿泊客数	宿泊客 延べ滞在数	延べ 宿泊客数	宿泊客 延べ滞在数	対前年 増減	対前年 対前年比	対前年 増減	対前年 対前年比
合計	929,587	1,650,611	791,171	1,417,530	138,416	14.9%	233,081	14.1%
アジア	785,310	1,420,135	618,257	1,114,463	167,053	21.3%	305,672	21.5%
中国	78,620	136,737	90,263	161,283	11,643	14.8%	24,546	18.0%
台湾	115,391	213,097	103,052	189,328	12,339	10.7%	23,769	11.2%
香港	33,319	60,633	64,625	116,743	31,306	94.0%	56,110	92.5%
韓国	518,416	940,867	305,745	551,584	212,671	41.0%	389,283	41.4%
シンガポール	10,613	18,293	9,875	17,526	738	7.0%	767	4.2%
タイ	10,383	18,505	14,103	25,286	3,720	35.8%	6,781	36.6%
その他	18,568	32,003	30,594	52,713	12,026	64.8%	20,710	64.7%
ヨーロッパ	39,232	65,765	44,591	77,836	5,359	13.7%	12,071	18.4%
イギリス	5,774	9,793	8,660	15,145	2,886	50.0%	5,352	54.7%
フランス	5,454	9,189	5,925	10,343	471	8.6%	1,154	12.6%
ドイツ	8,444	14,131	7,931	13,853	513	6.1%	278	2.0%
その他	19,560	32,652	22,075	38,495	2,515	12.9%	5,843	17.9%
北アメリカ	66,821	98,704	56,621	97,941	10,200	15.3%	763	0.8%
アメリカ	60,516	89,307	51,954	89,657	8,562	14.1%	350	0.4%
カナダ	5,406	7,882	3,885	6,907	1,521	28.1%	975	12.4%
その他	899	1,515	782	1,377	117	13.0%	138	9.1%
南アメリカ	1,142	1,878	1,770	3,168	628	55.0%	1,290	68.7%
オセアニア	8,282	14,087	10,781	18,863	2,499	30.2%	4,776	33.9%
オーストラリア	6,966	11,855	9,434	16,470	2,468	35.4%	4,615	38.9%
その他	1,316	2,232	1,347	2,393	31	2.4%	161	7.2%
その他の国・地域	5,842	10,821	4,894	9,097	948	16.2%	1,724	15.9%
国籍不明	22,958	39,221	54,257	96,162	31,299	136.3%	56,941	145.2%

参考 クルーズ客船入港実績推移

(単位:隻、人)

	H27	H28	H29	H30	R1
入港隻数	180	273	365	337	272
外航	164	254	346	323	257
内航	16	19	19	14	15
乗客乗員数	500,866	837,096	1,198,901	1,252,379	989,096
外航	490,375	822,873	1,188,284	1,242,896	977,293
内航	10,491	14,223	10,617	9,483	11,803

(6) 修学旅行宿泊者数の動向

令和元年の修学旅行宿泊者数は、農林漁業体験の充実によって吉崎市や五島市、西海市が増加した一方で、令和元年に修学旅行を実施した学校の多くが熊本地震が発生した年の平成 28 年に行き先を決定していることの影響等により、本県の修学旅行宿泊者数の 8 割以上を占める長崎市、佐世保市の 2 市が減少したことから、対前年比 6.2% (2.8 万人) となった。

修学旅行宿泊者数

(単位 : 人)

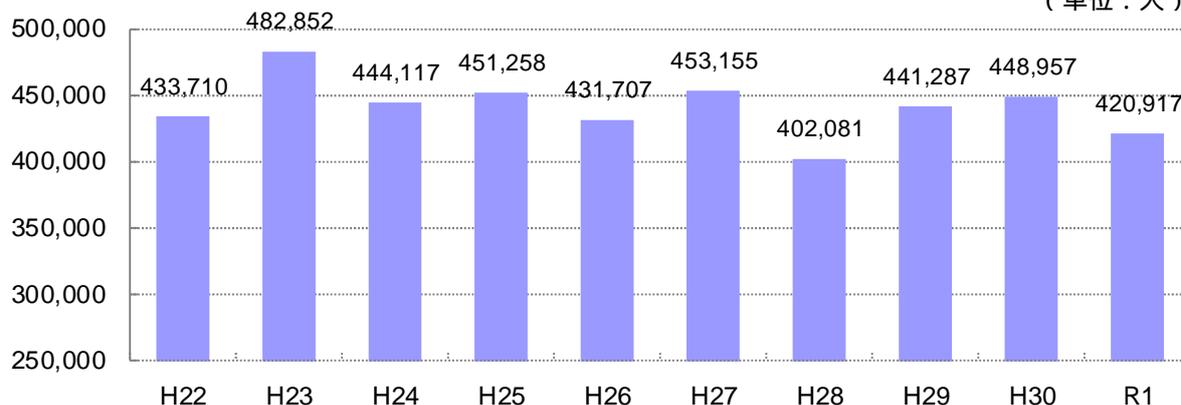
	H29	H30	R1	対前年増減	対前年比	構成比
県 計	441,287	448,957	420,917	28,040	6.2%	100.0%
長 崎 市	294,800	289,200	269,400	19,800	6.8%	64.0%
佐 世 保 市	65,630	76,407	68,613	7,794	10.2%	16.3%
西 海 市	142	76	532	456	600.0%	0.1%
川 棚 町	3,185	3,025	3,346	321	10.6%	0.8%
平 戸 市	13,046	9,348	9,712	364	3.9%	2.3%
松 浦 市	15,619	17,873	11,438	6,435	36.0%	2.7%
諫 早 市	1,816	2,715	1,529	1,186	43.7%	0.4%
大 村 市	884	811	1,412	601	74.1%	0.3%
島 原 市	6,770	9,746	11,538	1,792	18.4%	2.7%
雲 仙 市	17,193	15,114	13,179	1,935	12.8%	3.1%
南 島 原 市	9,387	11,815	12,846	1,031	8.7%	3.1%
五 島 市	6,322	6,796	8,909	2,113	31.1%	2.1%
新上五島町	0	0	54	54	-	0.0%
小 値 賀 町	649	582	582	0	0.0%	0.1%
吉 崎 市	5,669	5,321	7,699	2,378	44.7%	1.8%
対 馬 市	175	128	128	0	0.0%	0.0%

(注 1) 市町調査 (聞き取り) による延べ宿泊客数 (実績がある市町のみ掲載)。

(注 2) 長崎市については、市発表の団体客数 (学生客) の数値であるため、日帰り客を含む。

修学旅行宿泊者数の推移 (H22 ~ R1)

(単位 : 人)



2. 長崎県の観光消費額の動向

令和元年の観光消費額

観光消費額 3,653 億円（対前年比 3.3%）

平成 31 年 1 月から令和元年 12 月まで

一人あたりの平均消費額

【日帰り客】 7,799円（対前年比 3.4%）

【宿泊客】 32,082円（対前年比 + 0.5%）

令和元年の観光消費額は、昨年の 3,778 億円を下回り、3,653 億円（対前年比 3.3%）となった。

日帰り客、宿泊客別に見ると、日帰り客は、1,556 億円（対前年 5.9%）となり、宿泊客は 2,097 億円（対前年比 1.3%）となった。

また、平均単価を見ると、日帰り客は 7,799 円（対前年比 3.4%）、宿泊客は 32,082 円（対前年比 + 0.5%）であった。

観光消費額

（単位：百万円）

	H30	R1	対前年増減	対前年比
観光消費額	377,850	365,283	12,567	3.3%
日帰り客	165,431	155,613	9,818	5.9%
宿泊客	212,419	209,669	2,749	1.3%
平均単価 <一人あたりの平均消費額> （単位：円）				
日帰り客	8,076	7,799	277	3.4%
宿泊客	31,921	32,082	161	0.5%

観光消費額の伸び率推移

（単位：%）

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
対前年比	2.6	1.3	6.6	13.1	4.4	12.3	3.9	7.3	0.4	3.3

(参考) 令和元年市町別観光客数

(単位:人、%)

市町	区分	観光客延べ数									観光客実数				
		日帰り客数	宿泊客実数	延べ宿泊客数	宿泊客延べ滞在数	平均宿泊数	観光客延べ数	30年延べ数	前年比	増減	県内客	県外客	観光客実数	30年実数	前年比
県	計	19,953,835	6,535,355	8,205,375	14,740,730	1.26	34,694,565	35,502,250	2.3	807,685	11,152,610	15,336,580	26,489,190	27,139,305	2.4
	長崎・西彼	4,358,359	2,735,489	3,452,918	6,188,407	1.26	10,546,766	10,668,192	1.1	121,426	1,012,528	6,081,320	7,093,848	7,217,762	1.7
	佐世保・西海・東彼・北松	6,004,465	1,645,080	1,979,646	3,624,726	1.20	9,629,191	10,063,271	4.3	434,080	3,287,490	4,362,055	7,649,545	8,034,591	4.8
	平戸・松浦	2,273,699	308,669	422,750	731,419	1.37	3,005,118	2,947,824	1.9	57,294	1,097,865	1,484,503	2,582,368	2,512,190	2.8
	諫早・大村	3,643,421	484,203	641,491	1,125,694	1.32	4,769,115	4,722,425	1.0	46,690	3,564,290	563,334	4,127,624	4,080,656	1.2
	島原半島	3,244,705	767,324	898,978	1,666,302	1.17	4,911,007	5,029,331	2.4	118,324	1,972,112	2,039,917	4,012,029	4,141,660	3.1
	五島	183,025	207,003	321,479	528,482	1.55	711,507	663,127	7.3	48,380	140,753	249,275	390,028	384,776	1.4
	壱岐	117,841	118,945	153,782	272,727	1.29	390,568	384,809	1.5	5,759	38,612	198,174	236,786	230,548	2.7
	対馬	128,320	268,642	334,331	602,973	1.24	731,293	1,023,271	28.5	291,978	38,960	358,002	396,962	537,122	26.1
	長崎市	4,212,600	2,705,200	3,400,949	6,106,149	1.26	10,318,749	10,454,158	1.3	135,409	892,396	6,025,404	6,917,800	7,055,400	2.0
	長与町	84,159	0	0	0	-	84,159	76,421	10.1	7,738	53,322	30,837	84,159	76,421	10.1
	時津町	61,600	30,289	51,969	82,258	1.72	143,858	137,613	4.5	6,245	66,810	25,079	91,889	85,941	6.9
	佐世保市	3,727,309	1,533,121	1,845,368	3,378,489	1.20	7,105,798	7,457,211	4.7	351,413	1,972,956	3,287,474	5,260,430	5,559,189	5.4
	西海市	718,309	41,849	60,443	102,292	1.44	820,601	898,767	8.7	78,166	439,301	320,857	760,158	839,730	9.5
	東彼杵町	69,211	3,604	3,661	7,265	1.02	76,476	71,074	7.6	5,402	58,979	13,836	72,815	68,449	6.4
	川棚町	413,154	21,125	24,004	45,129	1.14	458,283	467,854	2.0	9,571	287,163	147,116	434,279	442,944	2.0
	波佐見町	944,317	44,848	45,558	90,406	1.02	1,034,723	1,037,143	0.2	2,420	403,026	586,139	989,165	993,553	0.4
	佐々町	132,165	533	612	1,145	1.15	133,310	131,222	1.6	2,088	126,065	6,633	132,698	130,726	1.5
	平戸市	1,388,609	259,255	314,353	573,608	1.21	1,962,217	1,954,513	0.4	7,704	743,688	904,176	1,647,864	1,640,308	0.5
	松浦市	885,090	49,414	108,397	157,811	2.19	1,042,901	993,311	5.0	49,590	354,177	580,327	934,504	871,882	7.2
	諫早市	1,968,391	305,832	414,172	720,004	1.35	2,688,395	2,743,326	2.0	54,931	2,026,333	247,890	2,274,223	2,322,561	2.1
	大村市	1,675,030	178,371	227,319	405,690	1.27	2,080,720	1,979,099	5.1	101,621	1,537,957	315,444	1,853,401	1,758,095	5.4
	島原市	695,661	171,942	233,524	405,466	1.36	1,101,127	1,057,992	4.1	43,135	414,154	453,449	867,603	834,326	4.0
	雲仙市	1,815,320	437,515	499,701	937,216	1.14	2,752,536	2,851,731	3.5	99,195	1,160,209	1,092,626	2,252,835	2,365,215	4.8
	南島原市	733,724	157,867	165,753	323,620	1.05	1,057,344	1,119,608	5.6	62,264	397,749	493,842	891,591	942,119	5.4
	五島市	113,384	130,184	202,098	332,282	1.55	445,666	409,539	8.8	36,127	66,250	177,318	243,568	241,044	1.0
	新上五島町	59,116	61,477	99,792	161,269	1.62	220,385	214,358	2.8	6,027	64,156	56,437	120,593	120,565	0.0
	小値賀町	10,525	15,342	19,589	34,931	1.28	45,456	39,230	15.9	6,226	10,347	15,520	25,867	23,167	11.7
	壱岐市	117,841	118,945	153,782	272,727	1.29	390,568	384,809	1.5	5,759	38,612	198,174	236,786	230,548	2.7
	対馬市	128,320	268,642	334,331	602,973	1.24	731,293	1,023,271	28.5	291,978	38,960	358,002	396,962	537,122	26.1